

●傷けしフツソコート 取扱説明書

★特徴★

洗浄→水あか取り→小傷消し→塗装均し→艶だし→コーティング
をこれ1本で行ないます。

下地処理（洗浄～塗装均し）された表面への施工は、深い艶だけでなく長期間のコーティング効果を得られます。

●塗装用研磨剤を使用しています

水垢取りや細かいキズを消し、塗装面をリフレッシュします。

表面の凹凸を均（なら）す事で仕上げの良さに大きく貢献しています。

注：古い車両の場合は、必ず目立たない場所でお試してください。

●フツ素樹脂コーティングをします。

汚れがコーティング面の上を転がり、塗装面まで浸透しません。

これは、汚れが付着し難く、付着しても落としやすい特性です。

熱や温度変化にも安定しやすい性質のため長期間のコーティング力を持ちます。

ツルツとした手触りで自然な艶が特徴です。

使用上の注意事項

- ※ 必ず容器本体の説明書を読んで、ご理解の上、作業を行ってください。
- エンジン・マフラーが冷えた状態で使用してください。
- 炎天下・強風の日・砂埃の多い日はキズの原因になりますので使用しないでください。
- 塗布面に残った砂埃をあらかじめ落とししてください。クロスで拭き上げる際に引っかきキズの原因となります。
- ご使用前に、目立たない場所で試した後、異常がない事を確認してから使用してください。
- エアゾール式のため換気の良い所で使用してください。
- 必ず本体部分を持って振ってください。
- 人体には使用しないでください。
- 塗布後の放置や拭き残しは、色ムラの原因になります。
- シボ系樹脂パーツへは使用できません。
- 使用するクロスは、柔らかい綺麗なものをご用意ください。
シリーズ商品「マイクロファイバークロス」をお勧めします。

使用方法①

スピード重視の場合 汚れがひどい場合

- 1 容器をよくふります。
*これを怠ると、残り少なくなった時の噴射力が弱くなったり、効果が落ちます。
- 2 噴射口を塗布面に向け、5-10cm程の距離でひと吹きます。(写真A)
- 3 塗布された泡の気泡がでましたら塗り伸ばしながら、拭きあげてください。
*キズや水あかの部分はこすり付けるように磨いてください。
- 4 使用したクロス別の綺麗な面で拭き上げれば、さらに艶がでます。
*タンクエンブレムなどに入り込み拭き取りができず白く残ってしまった場合は、濡れたタオルで拭きあげてください。これでフッ素コーティングが剥がれる事はありませんので再施工の必要はありません。

使用方法②

コーティング効果をより高めたい場合
 汚れがあまり目立たない場合 大きい面

- 1 容器をよくふります。
*これを怠ると、残り少なくなった時の噴射力が弱くなったり、効果が落ちます。
- 2 湿らせたスポンジに適量をスプレーし、数回もみほぐし、スポンジ全体に、液剤を染み渡させます。(写真B)
*ムラなくボディに塗り込む事ができます。
*スポンジは表面がざらついてないタイプをご用意ください。
- 3 液が乾かない内に、何度もすり込むようにスポンジを動かしてください。
*ボディ面なら縦・横に繰り返しスポンジを動かします。(写真C)
注意：必ず一方向にスポンジを動かしてください。
*スポンジの液が少なくなりましたら、再度スプレーをしてください。
- 4 塗布面（ボディ）の液が乾き始めましたら、水をかけワックス成分を完全に洗い流してください。
*使用したスポンジで拭きあげるように洗い流すと作業効率が上がります。
- 5 乾いたクロスで水分を拭きとってください。
*この時に擦り付けながら行なうと、よりコーティング効果が強くなります。



必ず一方向のみ